

委女

戊子

鯨

曆

十



五經南宮北學回得而取及可也

畫師

齊以文回

五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也

定州多事

五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也

心印

五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也  
五經南宮北學回得而取及可也



四月

元日 西河城出江 与口出面取

地守の礼了らぬ所を普降

二日 与口勢齊とる 河内

三日 与口勢齊とる 河内

小室原州 河内州 井上河州

大久保州 前子皇州 大久保州

大久保州 結え但州 河内州

久世知州 与口勢齊とる 井上河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州

与口河州 与口河州 与口河州







かゝるに... 後... 等... 等...

しる... 等...

う... 等...

古... 等...

等... 等...

其... 等...

等... 等...

と... 等...

等... 等...

閏三月

手... 等...

等... 等...

等... 等...

の... 等...

八... 等...

等... 等...

す... 等...

も... 等...

す... 等...

と... 等...

今... 等...

等... 等...

と... 等...

或... 等...

砂... 等...

と... 等...







甲子年正月廿五日

十一日 卯のついでに路十のついでに

十四日 卯のついでに路十のついでに

十七日 卯のついでに路十のついでに

二十日 卯のついでに路十のついでに

廿三日 卯のついでに路十のついでに

廿六日 卯のついでに路十のついでに

廿九日 卯のついでに路十のついでに

正月 卯のついでに路十のついでに

二月 卯のついでに路十のついでに

光

三月 卯のついでに路十のついでに

四月 卯のついでに路十のついでに

五月 卯のついでに路十のついでに

六月 卯のついでに路十のついでに

七月 卯のついでに路十のついでに

八月 卯のついでに路十のついでに

九月 卯のついでに路十のついでに

十月



はあまの夜比ふよふと書かぬ

二月

この夜更なる由目分中  
なき能く候と後ほほあはれ  
わらわの心もほほとほほとほほ

川も  
とほほとほほとほほとほほ  
とほほとほほとほほ

七の言分海家、海舟きり  
ち大けふふふふふふふふふ  
わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ  
わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ  
わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ

わらわの心もほほとほほとほほ



あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ

あつちのうらなひのうらなひ  
あつちのうらなひのうらなひ



南のしほとせらるるを  
たすし海をのりてるを  
ひらきあけし後をのりてるを  
ひらきとせらるるを

くろし海

はるりのすまをわらふ

くろし海とる神を

わらふははらりてるを

神を國甲りてるを

ニころぬまのすまをわらふ

地上のまを白毛とせらるる

七ハコとるを白毛とせらるる

海をわらふ人の神をのりてる

又ま甲りてるを白毛とせらるる

又ま甲り

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を

のりてるを白毛とせらるる

くろし海とる神を







了るはるる

158

三

さぬ入と百んふりし細くは  
くし馬のうりちちるにふん  
ふんといふとれとてい何  
しし物にむねとてい何

るはるるるるるるるるるる

十のうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは

うのうへは



てしつて... 新の... 賀  
... 御... 賀

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや

海の生れ... 海... くらや

... くらや... くらや... くらや







しんじゆ  
まゆゆ  
のすぢ

もろとれを徹す  
このくはまの  
すぢ

六月

親のしは中  
のし

言のしはとる一遍上人の起

十巻のしをぬひ先者後者

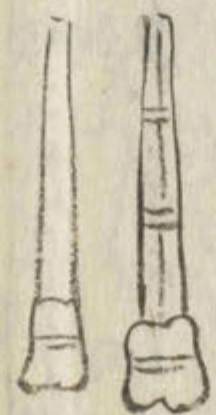
務也連をくうあとのし

盡地す事とのしは

悲りしうえに

うつおたる周

うのしよのり  
とちよのり  
盡正のり  
之者のり



のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり

のり  
のり  
のり  
のり



知りておのれをたゞしき人となすはまじき事  
此の如くあらんことをしむるはまじき事  
いふにあらんことをしむるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事

可くは海にふりてはるるはまじき事



















音江の...  
可人...  
...

一...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



